

「履歴書」の記載要領

1. 共通事項

提出書類は、指定様式により作成することとし、履歴書、業績目録は別添の様式に準じてA4版として下さい。なお、各欄のスペースは適宜調整して下さい。

2. 履 歴 書

(1) 年齢は、この履歴書の記入日現在における満年齢を記入して下さい。

(2) 学歴の欄には高等学校卒業以降の学歴を記入して下さい。

また、学位の欄には学位名の次に当該学位を授与した大学名を（ ）内に記入して下さい。

例：平成 3 年 3 月 県立〇〇高等学校卒業
平成 3 年 4 月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
平成 9 年 3 月 同上卒業
平成11年 4 月 〇〇大学大学院医学研究科（〇〇系、〇〇学専攻）入学
平成15年 3 月 同上修了

(3) 資格の欄には、医師の専門資格等を記載して下さい。

例：平成16年4月 日本〇〇学会〇〇専門医 （第〇〇〇〇号）

(4) 職歴の欄には、職歴のすべて（外国出張も含む）について記入し、職名もしくは身分も明記して下さい。

例：平成 9 年 4 月 〇〇大学医学部附属病院，研修医
平成11年 4 月 〇〇大学医学部附属病院，医員（〇〇科）
平成13年 4 月 米国〇〇大学，〇〇研究所，特別研究員
平成14年 4 月 〇〇大学医学部，助手（〇〇講座）
平成19年 4 月 〇〇大学医学部，講師（〇〇講座）
平成24年 4 月 国立〇〇病院，〇〇科，医長
令和 元年10月 〇〇大学医学部，准教授（〇〇講座）

(5) 学会及び社会における活動等の欄には、本人の専攻，研究分野に関連した事項，社会活動の事項及びその時期について記入して下さい。

例：平成11年 4月～現在 〇〇学会会員
平成21年 4月～現在 〇〇学会評議員

(6) その他の欄には非常勤職歴，その他の参考事項を記載して下さい。

例：平成16年4月～18年3月 〇〇大学医学部，非常勤講師
平成21年4月～23年3月 〇〇省〇〇委員会，委員

(7) 賞罰・処分歴等欄には、学会賞等や、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記載して下さい。ない場合は、「なし」として下さい。

例：平成28年 6月 〇〇学会〇〇賞受賞
令和 2年 8月 〇〇大学停職〇か月（処分等の原因となった具体的な事由：学生に対する〇〇〇〇〇〇〇〇等のセクシュアルハラスメント）

「研究業績」の記載要領

1. 論文発表

- (1) 共著の場合は、著者全員の氏名を記入し、本人の所に一重下線 (Corresponding Author の場合は二重下線) を引いて下さい。著書の分担執筆にあたっては、編集者名を記入して下さい。
- (2) 主要原著論文 (10編) については、当該番号を○で囲んで下さい。
- (3) 学位論文は当該番号を◎で囲んで下さい。
- (4) 記載は以下の区分に分類し、古い順に、著者名、論文名、雑誌 (ないし出版社)、巻 (ないし版)、頁～頁、年号を、以下の例にならって、記入して下さい。
- (5) Index Medicus に収録されている英文医学雑誌に関しては、略名を使用願います。
- (6) 英文総説、英文原著及び英文症例報告については、年号の後に Clarivate Analytics 社「Journal Citation Reports」による 2023 年のインパクトファクター (IF) を記入して下さい。
- (7) 印刷中の論文については、掲載証明書の写しを添付して下さい。

英文著書

- | | |
|---|--|
| 1 | Yonago Y:
Diagnosis in Gynecology
In: Gastric cancer. Tottori T(ed) pp121-131
Springer-Verlag, Tokyo, 2018. |
|---|--|

和文著書

- | | |
|---|--|
| 1 | 鳥取太郎, <u>米子康夫</u> , 安田花子:
〇〇の臨床病理
〇〇の疾患, 竹山 登編. pp54-60, 第2版,
凸凹出版, 東京, 2016. |
|---|--|

英文総説

なし

和文総説

なし

英文原著

- | | |
|---|--|
| 1 | Tottori H, <u>Yonago Y</u> , Nishi P, Tanaka A:
Massive necrosis in human transplanted organ.
Clin Pathol 77:22-88, 2011. doi: 10.1145/clin.pathol.16322150.
IF=2.504 |
| 2 | <u>Yonago Y</u> , Satake G, Sasaki H:
Tubular adenoma in human stomach. An immunohistochemical and
electron microscopic studies on 100 cases.
J Pathol 22:37-43, 2013. doi: 10.1590/j.pathol.2013.11,028.
IF=11.95 |

和文原著

- | | |
|---|---|
| 1 | 鳥取太郎, <u>米子康夫</u> , 安田花子:
〇〇に関する臨床病理学的研究
〇〇会誌 44:21-26, 2017. |
|---|---|

英文症例報告

- | | |
|---|---|
| 1 | <u>Yonago Y</u> , Yasuda H, Fujii K, Tottori T:
A case of pulmonary artery hydatid cyst observed on MR imaging.
Am J Med Imag 34:325-329, 2010. doi: 10.1136/ajmi.2010.0003268.
IF=5.321 |
|---|---|

和文症例報告

- | | |
|---|---|
| 1 | 鳥取太郎, <u>米子康夫</u> , 安田花子:
特異な経過を示した〇〇の一例
臨床生物 22:21-26, 2012. |
|---|---|

その他
(研究報告書, 特許等)

2. 学会発表

(1) 国内学会発表は特別講演, 上級演題 (シンポジウム, ワークショップ等) のみ, 古い順に記載して下さい。

国際学会は一般演題も古い順に記載して下さい。

(2) 共同演者の場合は, 発表者全員の氏名を記入し, 本人の所にアンダーラインを引いて下さい。

国内学会
特別講演

1

鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:

〇〇の臨床病理

第54回日本〇〇学会, 東京, 4月, 2015.

上級演題

国際学会
特別講演

1

Yonago Y, Yasuda H, Fujii K, Tottori T:

Tubular adenoma in human stomach. An immunohistochemical and electron microscopic studies on 100 cases.

40th International Congress of Cancer Pathology, New York August, 2010.

上級演題

一般演題

3. 科学研究費等研究助成金の交付実績

科学研究費等の交付実績について, 助成金の種類 (科学研究費補助金/厚生労働科学研究費補助金/その他) ごとに以下の内容を交付年度の古い順に記載して下さい。

(科学研究費補助金)

①研究助成金の名称と種別, ②課題, ③交付年度 (西暦),

④交付金額 (間接経費を含む総額。分担者の場合は, 実際の配分額を括弧書きすること。),

⑤代表者・分担者の別

(厚生労働科学研究費補助金)

①研究助成金の名称と種別, ②課題, ③交付年度 (西暦),

④交付金額 (間接経費を含む総額。分担者の場合は, 実際の配分額を括弧書きすること。),

⑤代表者・分担者の別

(その他)

①研究助成金の名称と種別, ②課題, ③交付年度 (西暦),

④交付金額 (間接経費を含む総額。分担者の場合は, 実際の配分額を括弧書きすること。),

⑤代表者・分担者の別